

ベトナムのセメント

中川 良一

ベトナムには約80ものセメント工場が稼働しており、2016年の生産能力は8,775万トンでした。これらのセメント工場の所在地別では北部54工場、中部21工場、南部5工場となっており、省内に3つ以上工場のある主要産地は次のとおりです。

【主なセメントの産地】

北部	ハナム省9工場 ハイズオン省7工場、ニンビン省8工場、クアンニン省5工場、ハイフォン中央直轄市3工場
中部	タインホア省7工場、ゲーアン省4工場、クアンビン省4工場
南部	キエンザン省3工場

＜セメント会社は3つのグループから成立＞

①国営会社 シェア35%

ベトナムセメント総公司 (VIETNAM CEMENT INDUSTRY CORPORATION 略称VICEM)
及び同傘下セメント企業

②外資系企業 シェア29%

③民間企業その他 シェア36%

日本からは、太平洋セメント株式会社と三菱マテリアル株式会社が共同出資し、①のVICEMとの合併会社ギソン (Nghi Son) セメント会社を設立しています。Nghi Son セメント会社は2つの工場を有し、それぞれの生産能力は220万トン/年です。

＜2016年のセメント輸出量＞

2016年のセメント国内販売量は約5,979万トンで、地域別のセメント販売シェアは北部41.5%、中部22.5%、南部36.0%となります。

クリンカー（半製品）、セメントの輸出量は約1,708万トンで、主な輸出先などは次のとおりです。

輸出先	輸出量 (トン)	輸出額 (USドル)	輸出先	輸出量 (トン)	輸出額 (USドル)
フィリピン	386万	1億8,480万	チリ	38万	1,743万
バングラデシュ	470万	1億4,104万	オーストラリア	47万	1,607万
台湾	88万	2,925万	ラオス	23万	1,577万
モザンビーク	100万	2,899万	スリランカ	50万	1,509万
ペルー	50万	2,314万	インドネシア	27万	865万
マレーシア	58万	1,941万	ミャンマー	6万	250万
カンボジア	33万	1,819万	中国	3万	85万

※いずれも1万以下四捨五入

＜2016年のセメント輸出量＞

現在、日本からベトナムには33,137トン（2016年）と少量ですが、高機能セメントが輸出されています。日本のセメント生産量は96年の約9,927万トンから減少し、現在はピーク時の60%の約5,927万トンになっていますが、需要も、バブル時の約8,629万トンから現在は約4,178万トンに半減しています。2020年のオリンピック終了後は、労働者不足なども加速し、さらに需要が下がる可能性もあります。

一方、ベトナム国内でのセメント需要は、2020年9,500万トン、2030年には1億1,500万トンと急速に上昇することが予測されており、輸出も今後、増加することが見込まれます。

日本での需要縮小を見込み、ベトナム企業と日本企業の協力により、日本の高い技術や設備を生かし、ベトナム国内需要及び輸出用高機能セメント製造ビジネスが、ベトナムで広がるかもしれません。



日本との合併会社ギソンセメント社製品